

## ここまで来た！インスリンの世界②

# 自己血糖測定器 ワンタッチウルトラビュー™

### 日本市場への挑戦

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
メディカルカンパニー I&PM, R&D ライフスキャン事業部マーケティング

#### 【はじめに】

2003年、日本で発売を開始した自己血糖測定器ワンタッチウルトラ™（前モデル）は、コンパクトサイズ、1  $\mu$  l 以上の必要血液量、約5秒の測定時間などの機能が高く評価され、全世界で販売しておりました。自己血糖測定はその測定結果から、糖尿病患者の日々の生活、治療にフィードバックする重要な役割を担っています。ワンタッチウルトラ™を日本市場で販売する一方、われわれは、様々な要因により自己血糖測定器をうまく使いこなせない方々が多くいる現実を目の当たりにしてきました。

#### 【日本市場への挑戦】

市場調査および医療従事者の方々からのフィードバックにより、日本の糖尿病患者の中には比較的高齢者の方々が多く、そのため、視力の低下や手が震えて細かい操作ができないなど、操作や結果の解釈に周囲の助けを必要としている方がいるということが明らかになりました。また、糖尿病と診断された方々は、食事療法・運動療法および、インスリンデバイスの使用方法など、数多くのことを覚える必要があります。そのことが自己血糖測定器を使いこなすことへの障害の一因になっていることがわかりました。このような日本の市場ニーズを洗い出し、それを解決するための測定器を開発すべく、日・米・独・伊の関係者を集めた開発チームが結成され、ワンタッチウルトラ™の精確さと使いやすさを兼ね備えながらさらに優れた機能を持つメーター、すなわちワンタッチウルトラビュー™の開発プロジェクトが始動いたしました。



ワンタッチウルトラビュー™

#### 【使いやすさの追求】

ワンタッチウルトラビュー™で最も追い求めたものは、さらなる使いやすさの向上でした。とくに、患者の多くは視力の低下に悩まれていることから、まず初めに着目したのは『画面の見やすさ』を徹底的に改善することでした。これまでの自己血糖測定器の多くは、白黒の液晶画面上に数値を表示するものでした。この点を改善させるために、ワンタッチウルトラビュー™ではバックライト機能があるカラー液晶を採用し、コントラスト比の高い表示と、高い解像度を用いたなめらかなフォントで表現することで、数値やメッセージの視認性を向上しました。

また、それまでの自己血糖測定器では、エラーや電池交換の際は記号やシンボルで表示されることが多く、取扱説明書を参照しなければ正確な対応をできない場合も散見されていました。そこでワンタッチウルトラビュー™ではメッセージを自然な日本